



現在、木造住宅の軸組加工は、工場でのプレカット加工が主流です。1998年頃は45%程度であったプレカット率は、今では90%を超えていると言われています。実際、「プレカットの方が速いし、正確だしいいんじゃないの?」と考えている方も多いのではないのでしょうか。

今回のセミナーでは、そのような時代背景のなかで、「手刻み」を続ける30~40代の大工さんたちにお話を伺いたと思います。手刻みを続ける理由、それぞれの思いを知り、木造の奥深さについて考えてみませんか。

「手刻み」について考える

日時 令和3年10月27日(水) 18:00~19:30

パネラー

大竹 俊光さん (大竹工務店・いばらき大工棟梁の会)

大谷 統一さん (木組スタジオNico・いばらき大工棟梁の会)

村松 勤也さん (村松建築・いばらき大工棟梁の会)

パネラーの皆さんの考える「手刻み」とはどのようなものなのか、プレカットとの違いは? コストや工期に対する考え方などのお話の他、現場の紹介をして頂きます。

集合場所: PC・タブレット・スマホ等の通信環境がある場所

お申込みのメールアドレスに、ミーティングIDをお送りいたします

※事前に各自ZOOMアプリのインストールを済ませておいて下さい。

(PCの方は、マイク、スピーカー、ウェブカメラの設定をしておいて下さい。)

会費: 無料 ※建築士会員のみ

申し込み期限: **令和3年10月22日(金)まで**

※キャンセルされる方は事前にご連絡をお願いします。

申し込み先: 茨城県建築士会事務局 (TEL029-305-0329)

FAX **029-305-0330**またはe-mail kyy05413@nifty.comでお申し込みください。

担当連絡先: 大谷 美由紀 (090-8892-8842)

お申込み欄

Eメールアドレス

支部名

お名前

当日連絡のつくご連絡先

備考 右に該当する方は○で囲ってください。 リモートに不安がある、サポートがほしい

事前に聞いてみたいことをご記入ください。